

平成25年12月24日

第2学期終業式校長挨拶（概要）

おはようございます。あと、1週間ほどで、今年も終わります。皆さんにとって今年は、どのような年でしたか。楽しいことが多かったですか、つらいことが多かったですか。

行事の多かった2学期においても、教科・科目の知識だけでなく、クラスや学年の仲間と一緒に取り組むことからいろいろなことを体験され、学んだことと思います。



それでは、3点、お話をさせていただきます。

1点目は、11月に行った「授業見学」の感想です。

先生方がどのように授業をされているかを見るのが目的ですが、併せて、生徒の皆さんがどのような態度で授業に参加しているかも見させていただきました。

今年も、多くの皆さんは、開始のチャイムがなるまでには、教材を整え、授業を聞く準備をされていました。授業開始後、教科書等をロッカーに取りに行く生徒も昨年に比べると少なかったような気がします。でも、中には、授業に集中していない生徒、また、机の上にその授業に関係のない教科書や資料集、などを置いている生徒がまだ見られました。先日、皆さん方の成績や出席状況に関する会議でもいろいろと話を聞きました。今日のHRの時間には、2学期の学びなど振り返る時間を設けています。今学期も生活を振り返るとともに、進級や卒業、そして、卒業後に向けて、やらなければならないことをしっかり考えてください。

なお、12月10日は、第2回目の授業に関するアンケートに回答していただきました。その結果については、先生方にも伝えていきたいと思います。

2点目は、絵画の寄贈についてです。

気が付いている人もいるかもしれませんが、校長室の横の壁に100号の大きさの絵が飾られています。この絵は、11月22日に本校の前身である清水谷高等女学校の45回生、津川明美さんからいただきました。テーマは、「光と蔭の遊び」という題です。この絵は、2006年の日洋展において入選しているということです。

校内の壁や掲示板等には、様々なポスターや模擬試験の案内等が貼られていたり、絵画が飾られています。そのような掲示物にも注意を払ってほしいと思います。



3点目は、「人権HR」についてです。

2学期には各学年とも「人権HR」に取り組んでいただきました。1年生は、9月に「ケータイのええとこ・あかんとこ」、11月には「十人十色」。2年生は11月に国際理解をテーマに海外青年協力隊の方の講演や、ユニセフで作成されたDVDの視聴(海外の子どもの現状など)、3年生は、「多文化共生社会の実現に向けて」の講演でした。今も心に残っている内容はありますか。私は、人権とは、「人が人として生きていく権利」と理解しています。また、人権侵害とは次のようなことが生じることだと考えています、たとえば、「自由に職業が選択できる」「勉強しようとするればその機会が与えられる」。これらのことが何らかの事情でできないことです。戦争は「最大の人権侵害である」とも言われます。LINEなどでネットワーク上に自分の気持ちのままを表現することも、相手を傷つけることもあります。このような事象が残念ながら社会にはまだまだ存在します。

また、人権教育で大切なことは、知識では、差別はダメ。暴力や、いじめは、ダメ。と理解していますが、そのことを、私も含めて、どのように行動に表せるかが大きな課題であると思っています。

今年は、12月4日から12月10日までが人権週間になっていました。本年度の「第65回人権週間」では、啓発活動重点目標「みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～」でした。杵月祭で2年B組が自由曲で合唱した「世界に一つだけの花」の歌詞にもある「一人ひとり違う種を持つ」という言葉の意味を改めて、考えてみてください。

最後に、3年生は、より体調を整え、年明けのセンター試験や一般入試に向けて、勉学に励み、自身の目標を達成する努力を、あせらず、継続してください。なお、すでに進路が決まっている人もいますが、安心するのではなく、この機会に図書館から本を借りて、進学先に関わった本や小説を読むなど学ぶ意欲を絶やさないでください。

良き新年を迎えられ、3学期も誰一人かけることなく、この場に揃ってほしいと願って、2学期の終業式における挨拶とします。